

資料・統計

2002年悪性疾患入院患者統計

Statistics of Inpatients with Malignancy in 2002

新潟県立がんセンター新潟病院情報調査部 病歴室

2002年の悪性疾患入院患者統計について報告します。

悪性疾患入院患者の基礎資料 (表 1)

悪性疾患の新規登録疾患数は2,214 (前年1,949) と前年より再び増加に転じ、悪性疾患入院患者実数も3,138 (前年2,843) と増加しています。これは退院患者実数が9,299 (同7,864) と増加していることに伴うもので、平均在院日数が17.3 日と前年 (21.1) より大幅に短縮した結果だと思われます。

悪性新生物疾患別数の推移 (表 2)

悪性疾患の新規登録疾患数を部位別にみると、乳房、230 (前年245)、が少し減少していますが、その他の主要部位の悪性疾患 (肺、353 (同308)、胃、365 (同317)、大腸 (直腸を含む)、234 (同201)、子宮 (頸部・体部)、79 (同54)) はすべて増加していますし、2001年と同様に、前立腺、123 (同 93) の増加も顕著です。

全疾患に占める悪性新生物比率の年間推移 (表 3)

悪性疾患の割合は58.5% (同55.2%) と大きく増加しており、入院患者実数の増加を上まわっています。毎年のことではありますが、当院が“がんセンター”として特化しつつある状況がさらに鮮明になってきています。

診療科別入院患者悪性疾患比 (表 4)

科別にみると、小児科、外科、呼吸器外科、放射線科で悪性疾患の割合が多いのはここ数年間不変です。死亡退院数は451 (前年422) と前年に比し再び増加し、悪性疾患死亡退院数も408 (同395) と少し増加しています。また、剖検数は33で2002年も剖検率5%以上を確保しています。

診療科別・在院期間別・性別退院患者数 (表 5) および病類別・在院日数別患者数 (表 6)

性別退院患者総数では男性4,294 (前年3,849)、女性4,935 (同4,015) と前年と同様に女性が男性の総数より多くなっています。これはやはり乳癌の増加によって外科の女性入院患者数が2,082 (前年1,332) と男性の714を大きく上まわっていることによるもので、その実数も大幅に増加しています。しかもそのうちの80%が1-8日間の入院であり、それが下記のような当院の平均在日数短縮にも寄与しています。

良性疾患患者の平均在院日数は15.2日 (前年15.3日) と前年とほぼ不変ですが、悪性疾患患者のそれは19.3日 (前年23.8日) と大幅に短縮しています。

2002年の追跡結果 (表 7)

過去40年間の悪性疾患登録患者数は39,856例に達し、前年 (38,156) よりも1,700例増加しています。登

表 1 悪性新生物疾患別数の推移 (実数)

2002年の悪性疾患入院患者の基礎資料	
1. 2002年の悪性疾患登録患者数 (実数)	1, 978
2. 2002年の悪性疾患登録疾患数	2, 214
内訳：本年初登録で単疾患	1913例, 1913疾患
本年初登録で複数疾患	65例, 134疾患
既登録で本年初発疾患	157例, 167疾患
3. 2002年の悪性疾患入院患者実数	3, 138
'01年以前の登録患者も含む	
4. 2002年の入院加療悪性疾患患者延数	6, 845
同一年の再入院も含む	
5. 2002年の総入院患者実数	5, 363
6. 2002年の総入院患者延数	9, 229

表2 悪性新生物疾患別数の推移(実数)

部位等 (ICD10)	2000年	2001年	2002年
口唇, 口腔および咽頭の悪性新生物 (C00~C14)	64 (37)	63 (43)	82 (51)
食道の悪性新生物 (C15)	146 (100)	128 (83)	122 (95)
胃の悪性新生物 (C16)	449 (371)	403 (317)	446 (365)
小腸の悪性新生物 (C17)	5 (4)	11 (8)	5 (4)
結腸の悪性新生物 (C18)	170 (139)	150 (126)	193 (157)
直腸, 直腸S状結腸移行部および肛門の悪性新生物 (C19~C21)	105 (80)	95 (75)	97 (77)
肝および肝内胆管の悪性新生物 (C22)	83 (48)	64 (34)	74 (47)
胆嚢および肝外胆管の悪性新生物 (C23, C24)	34 (25)	43 (28)	29 (17)
膵の悪性新生物 (C25)	55 (40)	53 (36)	73 (51)
その他消化器および腹膜の悪性新生物 (C26, C48, C45. 1)	9 (3)	8 (2)	9 (4)
喉頭の悪性新生物 (C32)	47 (30)	42 (29)	56 (42)
気管, 気管支および肺の悪性新生物 (C33, C34)	489 (329)	485 (308)	528 (353)
その他呼吸系および胸腔内臓器の悪性新生物 (C30, C31, C37~C39, C45. 0, C45. 2)	18 (15)	19 (14)	22 (14)
骨および関節軟骨の悪性新生物 (C40, C41)	17 (9)	17 (8)	13 (6)
皮膚の悪性新生物 (C43, C44, C46)	56 (48)	56 (43)	49 (43)
乳房の悪性新生物 (C50)	338 (244)	358 (245)	366 (230)
結合組織およびその他の軟部組織の悪性新生物 (C47, C49)	29 (19)	18 (8)	23 (9)
子宮頸の悪性新生物 (C53)	40 (27)	34 (19)	59 (52)
その他子宮の悪性新生物 (C54, C55)	27 (20)	49 (35)	42 (27)
その他女性生殖器の悪性新生物 (C51, C52, C56~C58)	57 (29)	58 (32)	76 (46)
前立腺の悪性新生物 (C61)	108 (72)	126 (93)	149 (123)
膀胱の悪性新生物 (C67)	104 (50)	103 (66)	123 (70)
腎および腎盂の悪性新生物 (C64, C65)	55 (39)	64 (45)	82 (66)
その他の泌尿生殖器の悪性新生物 (C60, C62, C63, C66, C68)	41 (30)	35 (20)	27 (21)
脳の悪性新生物 (C71)	3 (2)	6 (4)	4 (2)
その他および部位不明の悪性新生物 (C69, C70, C72~C80)	111 (75)	103 (77)	87 (57)
再掲 [甲状腺 (C73)]	89 (64)	78 (60)	62 (44)
白血病 (C91~C95)	91 (50)	78 (39)	84 (47)
その他のリンパ組織および造血組織の悪性新生物 (C81~C85, C88, C90, C96)	135 (72)	124 (61)	165 (89)
上皮内癌 (D00~D09)	32 (31)	50 (51)	53 (49)
計	2,918 (2,038)	2,843 (1,949)	3,138 (2,214)

表 3 悪性新生物の年間推移 (実数および比率)

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
悪性新生物	2,337	2,535	2,742	2,918	2,843	3,138
%	49.77	50.15	53.22	54.82	55.18	58.51
全疾患	4,696	5,055	5,152	5,323	5,152	5,363

表 4 診療科別入院患者悪性疾患比 (延べ数, 重複あり, 死亡・剖検は実数)

診 療 科	悪性疾患患者 (%)	入院患者数	死亡数		剖検数	
			悪性	総数	悪性	総数
内 科	2,022 (72.1)	2,804	217	244	24	26
神 経 内 科	- (-)	48	-	6	-	-
小 児 科	258 (90.5)	285	5	5	4	4
耳 鼻 咽 喉 科	229 (74.4)	308	17	17	-	-
外 科	2,666 (95.4)	2,796	89	92	-	-
呼 吸 器 外 科	376 (90.4)	416	15	15	-	-
整 形 外 科	74 (18.0)	412	3	4	-	1
心 臓 血 管 外 科	- (-)	1	-	-	-	-
脳 神 経 外 科	64 (59.8)	107	8	12	-	-
麻 酔 科	1 (33.3)	3	-	-	-	-
眼 科	1 (0.6)	156	-	-	-	-
皮 膚 科	97 (66.0)	147	2	2	-	-
泌 尿 器 科	514 (67.4)	763	30	31	1	1
婦 人 科	363 (57.5)	631	13	14	1	1
産 科	- (-)	166	-	-	-	-
放 射 線 科	180 (96.8)	186	9	9	-	-
合 計	6,845 (74.2)	9,229	408	451	30	33

録後20年を経過して追跡調査の対象外となった患者も13,144例となっています。

実際の調査では、照会拒否によって直接照会不適とされたものや、直接照会に対して未回答であったために戸籍照会に戻ったものは1,157 (前年607)と前年に比し再び増加しています。今回から、追跡調査用の返信用はがきと一緒に、返信内容を隠すことのできるシールを同封し、患者さんのプライバシー保護につとめました。それが回答数の増加にはつながらなかったようです。いずれにしても、個人情報保護条例の制定などに伴い、個人のプライバシー保護の意識がさらに高まってきている社会情勢ですので、今後も患者さんのプライバシー保護には十分留意した追跡調査を行っていきたいと考えています。

おわりに

特定機能病院における包括支払い方式(DPC)の導入や診療報酬引き下げ、新たな卒後臨床研修システムの開始、医療訴訟の増加、といった、昨今の医療制度や状況の大きな変化は当院にもいろいろな影響を与えています。そのなかで診療録の持つ医療情報としての重要性はますます大きくなっており、その適正な管理は病院として必須の業務となっています。また、新潟県で唯一の”地域がん診療拠点病院”としてのがん登録データの提出や公開といったような新たな業務の追加も予想されており、今後はこれらの業務量増加や質的变化への対応も病歴室としての重要な課題であると考えられます。

表5 診療科別・在院期間別・性別・退院患者数

科別	在院期間別		総数	1-8 日	9-15 日	16-22 日	23-31 日	32-61 日	62-91 日	3-6 月	6月- 1年	1-2 年	2年-	平均在 院日数
	性別													
総数	男		4,294	1,329	987	731	432	507	184	112	12	-	-	22
	女		4,935	2,632	899	532	307	323	152	82	8	-	-	15
内科	男		1,729	585	406	246	149	191	77	74	1	-	-	22
	女		1,075	456	212	150	74	102	47	30	4	-	-	20
神経内科	男		29	2	6	6	4	7	4	-	-	-	-	29
	女		19	8	1	2	3	4	1	-	-	-	-	20
小児科	男		144	67	11	6	18	19	6	14	3	-	-	32
	女		141	50	15	15	37	15	4	4	1	-	-	25
耳鼻咽喉科	男		197	23	63	23	20	31	33	3	1	-	-	31
	女		111	11	55	19	8	4	9	4	1	-	-	25
外科	男		714	131	168	187	99	103	18	7	1	-	-	22
	女		2,082	1,660	171	119	67	46	13	6	-	-	-	7
呼吸器外科	男		275	32	65	118	33	18	5	3	1	-	-	21
	女		141	10	25	90	11	3	2	-	-	-	-	19
整形外科	男		183	23	41	34	33	37	7	4	4	-	-	32
	女		229	18	39	33	36	60	33	10	-	-	-	36
心臓血管外科	男		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	12
脳神経外科	男		59	6	12	12	11	10	6	2	-	-	-	31
	女		48	9	8	11	10	6	4	-	-	-	-	24
麻酔科	男		2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	女		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
眼科	男		58	40	16	1	-	1	-	-	-	-	-	8
	女		98	51	38	3	4	2	-	-	-	-	-	10
皮膚科	男		89	33	35	9	7	3	2	-	-	-	-	14
	女		58	17	28	6	3	2	1	1	-	-	-	15
泌尿器科	男		657	342	151	73	41	32	15	3	-	-	-	13
	女		106	52	24	14	7	8	1	-	-	-	-	14
婦人科	男		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女		631	179	256	59	35	40	33	27	2	-	-	22
産科	男		27	25	1	-	1	-	-	-	-	-	-	5
	女		139	107	23	3	2	4	-	-	-	-	-	8
放射線科	男		131	18	12	16	16	55	11	2	1	-	-	36
	女		55	3	3	8	10	27	4	-	-	-	-	34

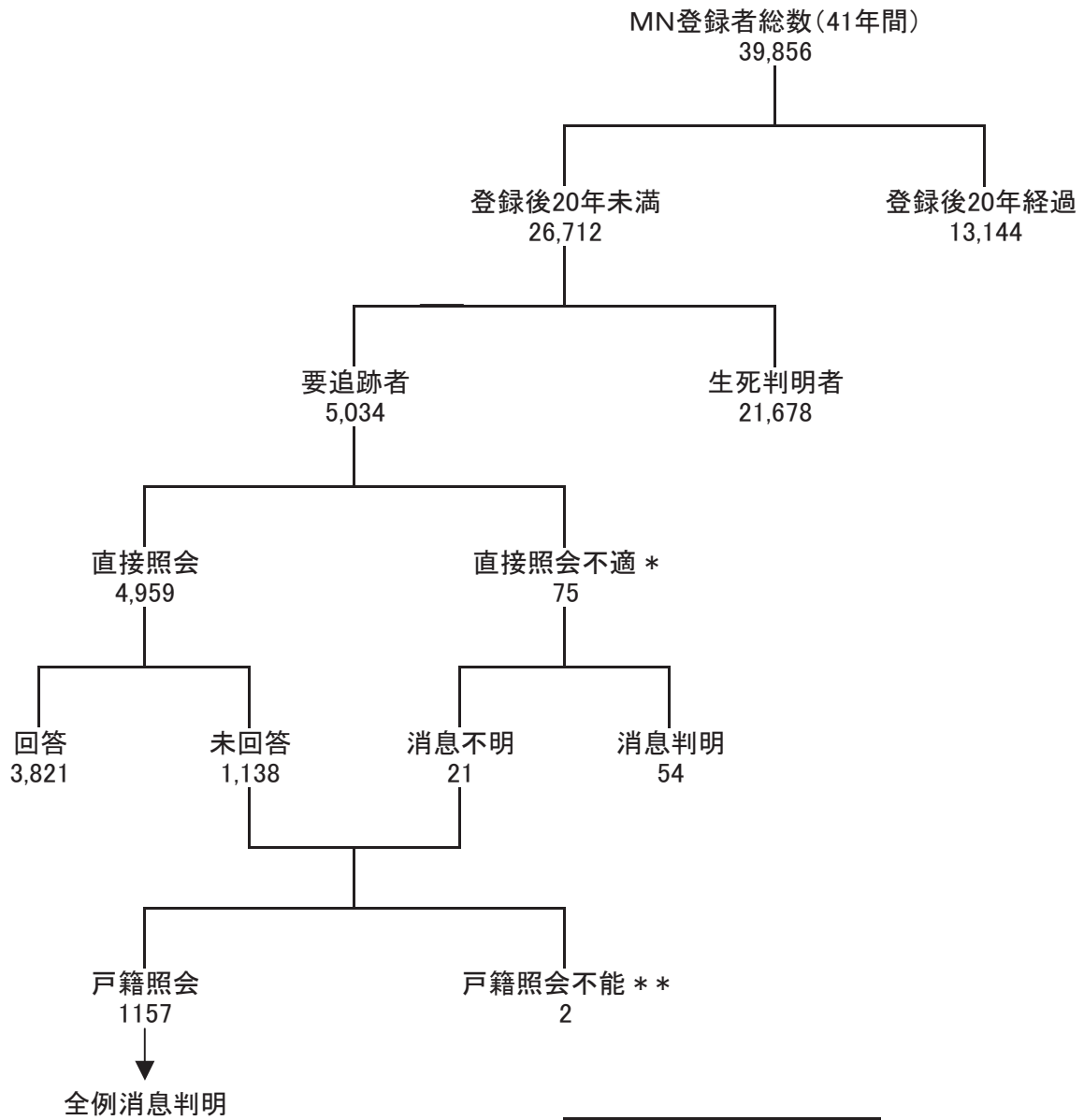
表 6 病類別 (大分類) 在院日数別患者数

疾病大分類	在院日数										
	計	1~7日	~14日	~1月	~3月	~6月	~9月	~12月	~2年	2年~	平均在院日数
合計	9,229	3,647	1,965	2,178	1,225	194	16	4	-	-	18.2 (168,477)
I 感染症および寄生虫症	48	16	19	8	5	-	-	-	-	-	14.0 (676)
II 新生物	7,217	2,875	1,358	1,800	987	180	13	4	-	-	18.9 (136,718)
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	29	12	9	4	4	-	-	-	-	-	17.2 (499)
IV 内分泌, 栄養および代謝疾患	102	22	27	49	4	-	-	-	-	-	15.8 (1,618)
V 精神および行動の障害	6	3	3	-	-	-	-	-	-	-	7.0 (42)
VI 神経系の疾患	28	5	8	11	4	-	-	-	-	-	18.7 (524)
VII 眼および付属器の疾患	154	67	77	7	3	-	-	-	-	-	8.7 (1,355)
VIII 耳および乳様突起の疾患	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	16.0 (16)
IX 循環器系の疾患	204	70	44	52	35	3	-	-	-	-	19.0 (3,877)
X 呼吸器系の疾患	182	46	67	40	25	2	2	-	-	-	19.9 (3,624)
XI 消化器系の疾患	299	68	125	73	32	1	-	-	-	-	15.7 (4,712)
XII 皮膚および皮下組織の疾患	44	9	21	11	3	-	-	-	-	-	14.8 (654)
XIII 筋骨格系および結合組織の疾患	182	16	23	59	80	4	-	-	-	-	34.0 (6,203)
XIV 尿路性器系の疾患	325	193	103	25	3	1	-	-	-	-	8.1 (2,662)
XV 妊娠, 分娩および産じょく<褥>	127	75	43	5	4	-	-	-	-	-	8.6 (1,102)
XVI 周産期に発生した病態	42	39	2	1	-	-	-	-	-	-	4.0 (172)
XVII 先天奇形, 変形および染色体異常	13	7	4	1	1	-	-	-	-	-	12.1 (158)
XVIII 症状, 徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	88	70	11	4	3	-	-	-	-	-	6.7 (597)
XIX 損傷, 中毒およびその他の外因の影響	108	28	19	25	32	3	1	-	-	-	28.5 (3,084)
XX 傷病および死亡の外因	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	- (-)
XXI 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	30	26	2	2	-	-	-	-	-	-	6.1 (184)

良性平均在院日数15.2(総日数 36,308)
悪性平均在院日数19.3(総日数 132,169)

() 延日数

表7 2002年の追跡結果



県外55市町村	70名
県内84市町村	1,088名

* 直接照会不適: 直接照会拒否例など
 ** 戸籍照会不能: 外国籍女性, 外国人登録なし